京都大学
KYOTO UNIVERSITY

University of Glasgow

**経済史・
経営史分野で
日本初**

Kyoto-Glasgow

博士後期課程
国際ダブル・ディグリープログラム

Nurturing World-Class Researchers

知の越境で拓く人文・社会科学の知の未来形

- イギリスと日本は、経済史・経営史が経済学部の中に早期に制度化され発展を遂げたという点で、経済史・経営史研究の東西の中心です。本プログラムは、この二つの知的伝統を架橋することで、経済史・経営史に新しい可能性を開きます。

グローバルな舞台で活躍する研究人材を養成

- 日英の名門大学で研究実績をあげ２つの学位を持つ研究者は“World Class”。グローバルな活躍の舞台が待っています。
- 国内でのキャリア・パスでも国際ダブル・ディグリーは強力な武器です。

４年間で日英２大学の学位

- 本課程では、京都とグラスゴー、二つの大学での各２年、計４年の学修と１本の博士論文で２つの学位を取得できます。
- 京都大学入学者の授業料は４年間を通じて日本の国立大学標準額のみ。追加授業料は不要です。

２つの名門大学教員による日英共同の研究指導

- 創立1451年、アダム・スミスの母校でもあるグラスゴー大学は、英国での経営史研究発祥の地。世界中から研究者を集める欧州最大の経営史研究所を持ち、また経済史の研究でも人材豊富です。
- 京大経済の経済史・経営史部門は、英語による秋入学の修士/博士学位課程「東アジア持続的経済発展研究プログラム」等、国際的な研究者養成で豊富な実績を持ちます。

幅広い研究主題に対応

- グラスゴーでの研究指導は英語によって行われますが、研究主題はイギリス/欧州史に限りません。日本経営史/経済史を含め、アジア経済史・グローバル経済史や、経営学や政治経済学との近接領域の主題まで、幅広い研究テーマに対応しています。

※プログラムに参加するためには、京都大学経済学研究科あるいはグラスゴー大学社会科学系カレッジの博士課程に入学する必要があります。

**詳しくは、
京都大学経済学研究科の
ホームページまで**

https://www.econ.kyoto-u.ac.jp/about/grad/

京都大学経済学研究科　グラスゴー大学社会科学系カレッジ